

滞在したくなる"まち"【収益アップ】

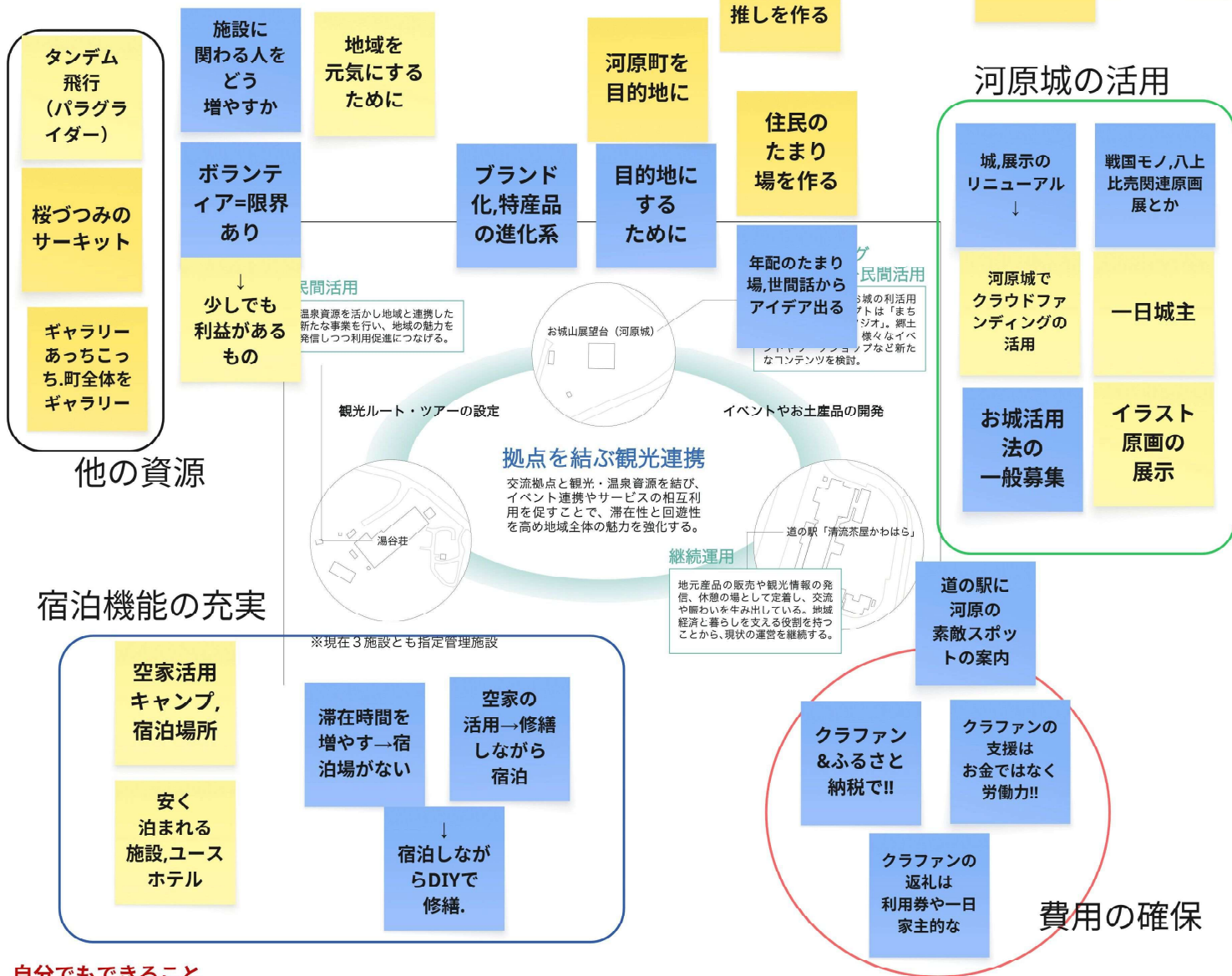
コンセプト

効果

- 交流人口増加 (町外)
- 関係人口増加
- 町を誇りに思う
- 経済効果があればうれしい

課題

- 経費労務
- 住民の巻き込み方 (嫌な人もいる)
- 体験活動の充実
- PRが大事
- 安全対策
- 基本的な設備の充実 (トイレ等)
- まちの売り、推しを作る



自分でもできること

- 河原の魅力を口コミでPR発信
- 足を運ぶ
- 町の伝統、文化の継承
- 郷土史の普及

子どものたまり場！！

コンセプト

効果

子どもが集まることで保護者も集まり、多世代の交流が生まれる

利用対象は子ども
→子どもを連れてくる保護者もターゲット
→ターゲットが多世代となる

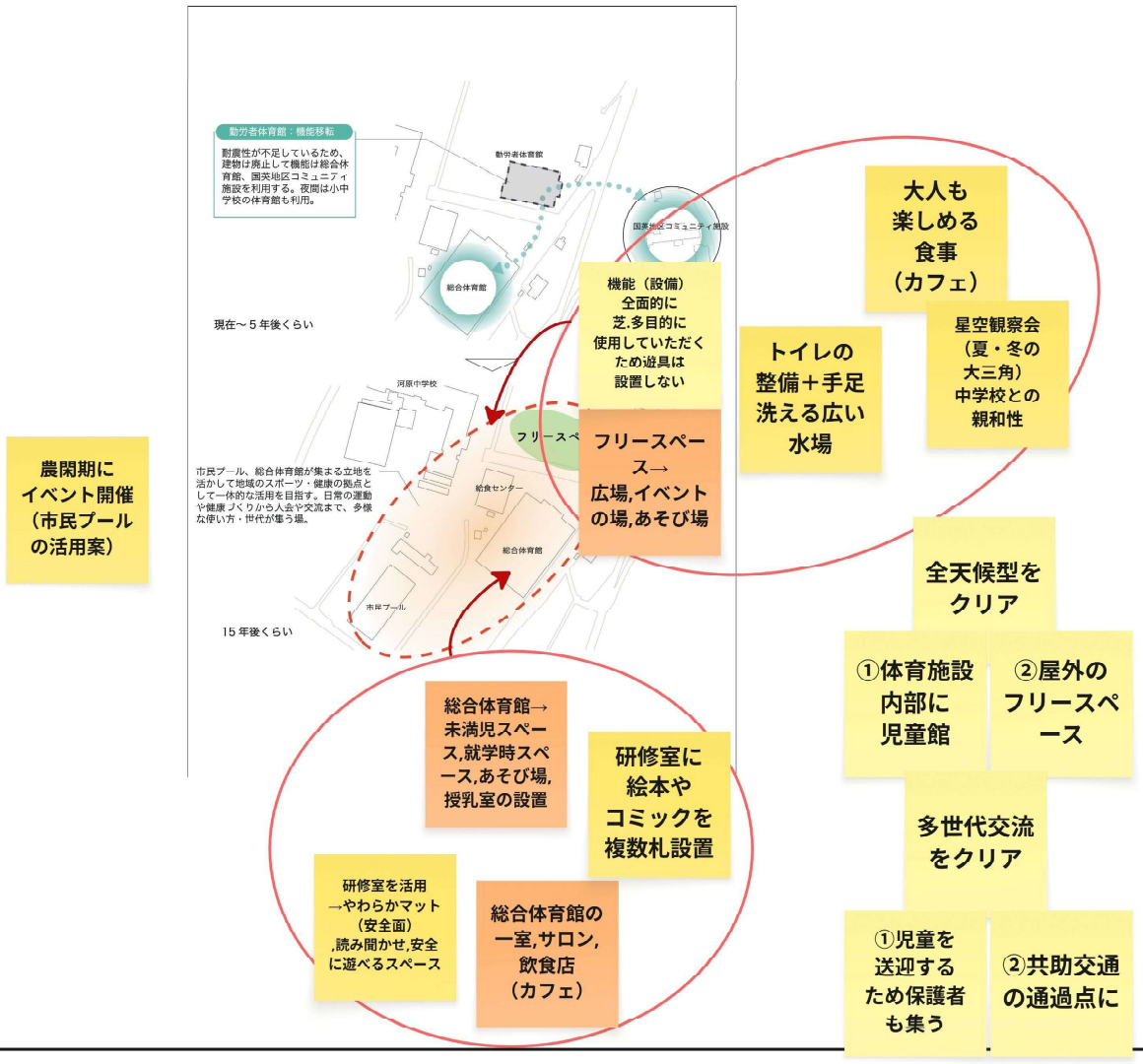
2次の効果の波及を実現するため、カフェ、ベンダー、授乳室を整備する

課題

運営の課題
①需要を高めて民間資力を導く
②学生の活力を呼び込みたい
(ボランティア活動や職場体験など)

既存設備を更新、駐車場を刷新

交通アクセスの改善、共助交通の充実



自分でもできること

子ども目線で町をみてる

子どもとイベントに参加

除草、除雪の手伝い、清掃作業、イベントに参加

カフェに野菜を提供

「中学生」が考えるユニバーサルエリア！！！！

誰でもいつでも体を動かせる, イベントスペースとしても使える

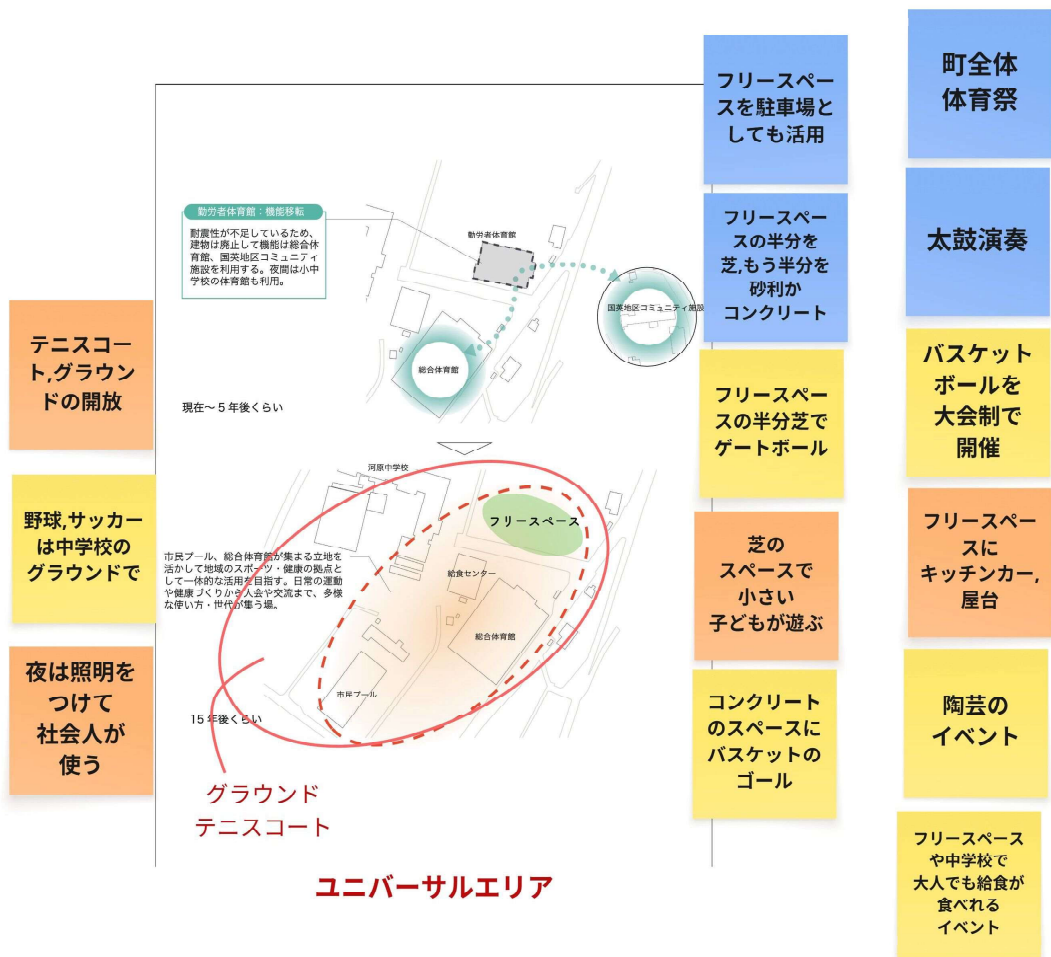
コンセプト

効果

誰でも楽しく使えるスペース
スペースの有効活用
(駐車場, 運動できる広場)

課題

照明がなくて夜使えない
中学生には予約が大変
誰でも使えるからこそ管理・調整が難しい



自分でもできること

イベントなどに積極的に参加する

イベントに友達を誘って一緒に参加する

学校全体にイベントなどを伝える

イベントの企画を提案する

タブレットでイベントの資料を作ってそれを学校全体に配る

D

Time is money !

コンセプト

効果

河原城を宿として→注目が集まりやすい(歴史が好きな人)

学生が来るとSNSでの発信が活発になる(知名度)

居住者の作品フォトスポット→観光客とのコミュニティ形成

車を持っている市内あたりの人なら気軽に来れる

課題

フォトスポット作りの中心となる組織,担い手の集め方

今の店の数ではものたりない,ふっと立ち寄ってもらえる店がバツと見つからない

交通手段の拡充,観光客,レンタカー,公共交通

費用が掛かる

城周辺にコンセプトに合わせた施設がない

河原城,道の駅,湯谷荘のセット売り

興味↓投資

大学生,自分が好きならいくらでも

単価高いコンテンツ,城の宿泊,人力車

交通手段,車20分(日帰り)

城,川,自然フォトスポット

お金5,000円未満

フォトスポットは自分でつくる(居住者が)

コスプレ観光地巡り

植物(田んぼアート)季節で変化する要素を入れる

大学生が行きたい要素

交通手段,バス,トゥクトゥク

河原城→宿,湯谷荘→風呂,道の駅→食事

トゥクトゥクで強制的に各地を巡らせる

学校終わりの大学生

城を使ったイベント,宿泊,コスプレ,食べ歩き

半日で済ませられる

あまりお金を使わない

来場者ポイントを設置,たまったら飲食に

河原城の問題点

道の駅,展望台,誰が来てる?何をしてる

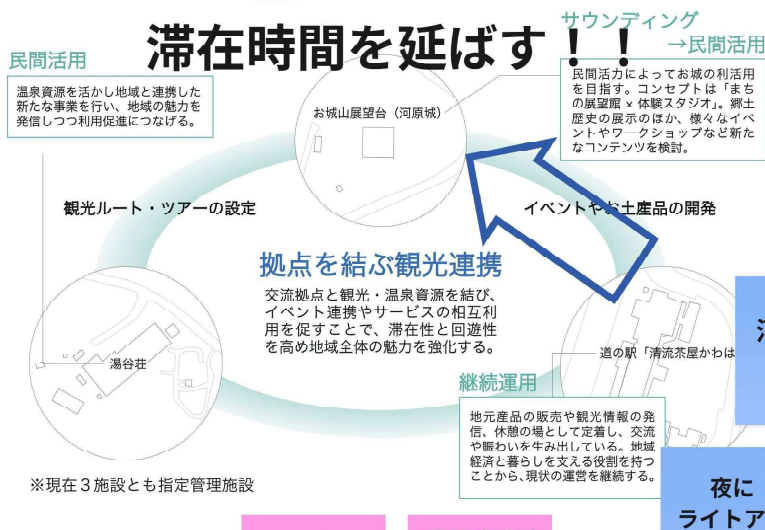
滞在時間を延ばすコンテンツ

展望台のみ,歴史ない

受動的に大学生が来る要素

大学の講義,プロジェクトとして

河原城をテーマにした現地学習,課題解決



河原城

道の駅の内訳,訪問客分析,地元の良いお客が多いと城へは行かない

滞り時間が増えると消費金額も増える

展望×飲食

城の中にカフェをつくるのは難しいのでキッチンカーを呼ぶ(城に目的をつくる)

展示物を道の駅に移行して,城のフロアは飲食スペースにする

河原城宿泊

夜にライトアップ河原城

ドライブ中に目立ってたらふらっと立ち寄れる場所に

城で金を生む

本物の城ではないので思い切ったことができる

城でサバゲーしたい

河原っぽさのある城下町風の通りがあったら雰囲気ある

滞在

自分でもできること

河原城にお金を落とす

鳥取中をドライブしてみる

大学の知人に教える,誘う

友人とご飯を食べにくる